



2018年度

事業実績

自 2018年4月 1日
至 2019年3月31日

2019年度

事業計画

自 2019年4月 1日
至 2020年3月31日



内 容

I. 2019年度事業方針と重点項目	5
II. 事業実績・計画のポイント	8
1. 事業活動	8
(1)組織運営	8
(2)税制	19
(3)交通安全	29
(4)保険	38
(5)クルマ好き拡大	43
(6)会員サービス・日本自動車会館関係	48
2. 委員会活動（計画）	56
(1)運営委員会	56
(2)税制委員会	57
(3)道路・交通委員会（新）	58
(4)経済・産業委員会（新）	59
III. 報告・連絡事項	60

I. 2019年度事業方針と重点項目



1. 環境認識

経済環境

▼国内経済指標は概ね堅調で推移するも、海外経済に波乱要因含みの状況

国内市場

▼足元国内新車市場は500万台規模の維持は見通せるが、長期的な縮小傾向は継続

クルマ社会の変革

▼自動運転、電動化、コネクテッド、シェアリングなどを中心にクルマとクルマ社会の変革が加速する中、2019年東京モーターショー、2020年東京オリ・パラを迎える

直近の対応課題

▼消費税引き上げ・2019年度税制改正の影響と今後の活動、人手不足、働き方改革、生産性革命など、自動車業界として対応すべき課題が山積



2. 事業方針

(1) 果たすべき役割・事業の整理

▼国内市場の停滞が続く一方、外部環境の変化は極めて速く、自動車総合団体として果たすべき役割・事業をあらためて整理する

(2) 事業の重点化と機動的取り組み

▼2017・18年度事業実績も踏まえ、取り組むべき事業を重点化し、関係業界の支持・支援の下、機動的に諸課題に取り組む体制を構築する

(3) 業界の連携強化

▼日本自動車会館をベースとした会員・業界間の連携強化を継続する

3. 重点項目

1) 組織運営

- 目指すべき姿とやるべき事業分野（ビジョン・ミッション）の定義
- ビジョン・ミッションに沿った事業展開と体制構築
- 従来事業の適正化

2) 税制

- 消費税引き上げ、2019年度税制改正に係る影響・市場動向フォロー
- 軽減・簡素化要望継続し「中長期的な視点」論点整理、今後に向けた調査

3) 交通安全

- 業界の取り組みPR・具体的な事故対策に貢献しうる新規施策の検討

4) 保険

- 6,000億円繰入金の返済要望・必要な陳情・理解活動の継続

5) クルマ好き拡大

- 会議所ホームページなどクルマ情報提供の充実 [東京モーターショー・東京オリ・パラ視野]

1. 事業活動

II. 事業実績・計画のポイント



1) 組織運営

2018年度実績

< 運営委員会 >

運営委員長：永塚誠一 自工会副会長・専務理事

< 理事会 >

- ・ 第199回 「2018年度事業計画・予算」 (3/2) 運営委員会(2/20)
- ・ 第200回 「第83回定時総会議案」 (書面) (5/15) 運営委員会 (書面) (4/27)
- ・ 第201回 「役員選任」 (6/6)
- ・ 第202回 「役員選任」 (書面) (1/1)
- ・ 第203回 「2019年度事業計画・予算」 (3/1) 運営委員会(2/18)
- ・ 第204回 「第85回定時総会議案」 (書面) (5/13) 運営委員会 (書面) (4/19)

< 総会 >

- ・ 第83回定時総会 「2017年度事業実績・2018年度事業計画」
「2017年度決算・2018年度予算」 (6/6)
- ・ 定時総会懇親会 (同)
- ・ 第84回総会 「役員選任」 (書面) (12/14)

1) 組織運営

2018年度実績



⇒ 定時総会懇親会には政府、国会議員や業界関係者など約450名が出席(6/6)





< 新規取り組み >

- ・ **人材委員会** 人材委員長：島崎有平 自販連常務理事
→ 新規立ち上げ。人事に関する歴史・原論をテーマに、同一講師による5回シリーズ講演。 [講師：中澤二郎 高知大学特任教授]

- * 働き方改革： 道路・環境委員長：梶野龍二 全ト協理事長
→ 道路・環境委員会：自動車運送業の取り組みについて国交省講演(7/4)

- ・ **特別委員会** 特別委員長：和辻健二 自工会常務理事
→ 「情報」テーマに特化。会議所ホームページによるクルマ好き拡大、自動車業界に関する情報提供等について3回審議

- ・ **新規アドバイザー委嘱**と月例ミーティング参加(4月～)
[戸田吉彦 (一社) 日本美術アカデミー理事]



1) 組織運営

2018年度実績

< 「事業強化・見直し3か年計画」(2017~19年度) >

⇒ イベント拡大・ホームページ改定・委員会追加などによる事業で赤字が拡大

(単位：百万円)

	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
収入	105	105	105	104	104	101	102	102	98
支出	105	105	107	109	114	112	114	111	97
収支差額	0	0	▲2	▲5	▲10	▲11	▲12 → ▲8	※	1
財産	-	158	-	153	-	142	-	134	-

主な事業強化策・・・

- ・70周年記念事業
- ・渉外活動強化

- ・交通安全イベント拡大(年1→2回)
- ・ホームページ改定
- ・親子イベント追加
- ・渉外活動強化

- ・交通安全イベント年2回継続
- ・親子イベント継続
- ・人材委員会追加
- ・渉外活動強化

※…急遽交通安全イベントの費用削減



[背景・課題]

- ・ 「事業強化・見直し3か年計画」の下、赤字収支が継続・拡大
- ・ イベント・啓発活動にリソースが取られ、政策提言のアウトプットが弱まっている
- ・ 外部環境の変化が加速している中、事業の大きな方向感が見失われている



[計画のポイント]

- ・ 会議所の目指すべき姿とやるべき事業分野（ビジョン・ミッション）の定義

定款第3条：本会議所は、我が国における自動車各般の健全にして調和ある発展を図るため、・・・
もって国民経済の発展に寄与することを目的とする。

<目指すべき姿>

- ・ これまでの歴史を活かす
- ・ 国と社会にはたらきかける

自動車と自動車業界
の存在感が高まる

自動車業界から頼られ、
感謝される

<やるべき事業分野>

- ・ 自動車の保有・利用環境向上に向けた政策提言
- ・ 自動車業界内・団体間の交流・連携の促進
- ・ 自動車の利用促進・好感度の向上
- ・ 自動車業界の地位・好感度の向上
- ・ 上記に優れた実績をあげた人・組織への賛称・褒賞

ビジョン・
ミッション

形式に整理

日本自動車会議所 ビジョン・ミッション

<ビジョン>

私たちは、これまでの長い歴史を活かして、国や社会にはたらきかけ、自動車と自動車業界の存在感が高まることへ貢献することを通じて、自動車業界から頼られ、感謝される存在になるため、与えられた資源の中で必要な全ての活動を行います。

<ミッション>

私たちは、ビジョンを実現するために、賛同する人々とともに、次のことに取り組みます。

- ✓ 自動車の保有・利用環境向上に向けた政策提言
- ✓ 自動車業界内・団体間の交流・連携の促進
- ✓ 自動車の利用促進・好感度の向上
- ✓ 自動車業界の地位・好感度の向上
- ✓ これらに優れた実績をあげた人・組織への賛称・褒賞

注：「私たち」 =
日本自動車会議所と
その運営を支えて
いただく人たち

<バリュー>

私たちは、日本自動車会議所の職場の人たちが働く上で次のことを重要で価値あることと考えます。

- ✓ 職場の人たちの多様な背景を尊重し、安全に楽しく働けること
- ✓ 常に複数の意見をもとに、方針と行動を決定すること
- ✓ 活動の成果は、ビジョン・ミッション実現への貢献で考えること



1) 組織運営

2019年度計画

・ビジョン・ミッションに沿った事業展開と体制構築

⇒ 1 委員会事業の強化、 4・5 自動車業界の地位・好感度の向上活動の検討に着手

やるべき事業分野 (ミッション)	2019年度事業	継続・新規
1 自動車の保有・利用環境向上に向けた政策提言	・ 委員会構成簡素化、情報共有・提言力強化	新規
2 自動車業界内・団体間交流・連携促進	・ 日本自動車会館をベースとした業界・団体間の連携活動の促進 ・ 会員拡大にもあらためて注力	継続
3 自動車の利用促進・好感度の向上	・ クルマ・バイク好きの拡大に関する事業	継続
4 自動車業界の地位・好感度の向上	・ 事業の具体策の検討に着手 具体化した事業から総会・理事会に提案	新規
5 上記に優れた実績をあげた人・組織への賛称・褒賞		

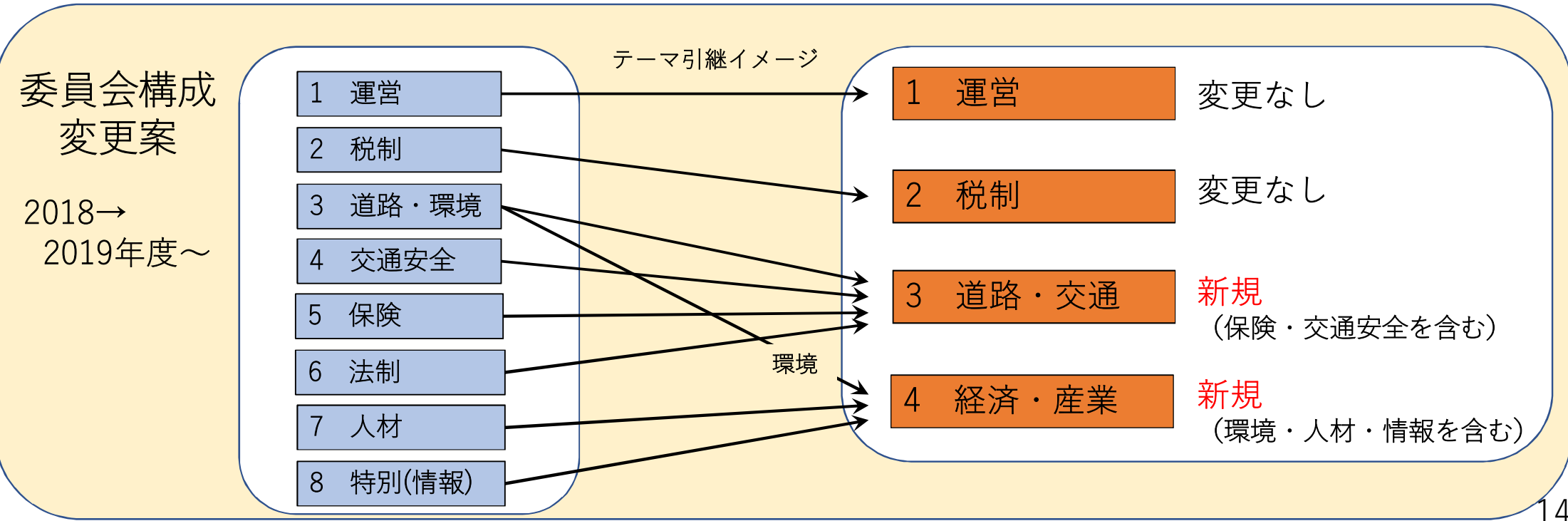


1) 組織運営

2019年度計画

・ビジョン・ミッションに沿った事業展開と体制構築

⇒委員会数 8 → 4 に簡素化
⇒情報共有の効率化とアウトプット（政策提言）強化に注力





1) 組織運営

2019年度計画

・ビジョン・ミッションに沿った事業展開と体制構築

⇒新規委員会では、個別テーマで会議所活動に助言・関与いただく特別委員長を置く

<各委員会 委員長・特別委員長 所管分野>

委員会	委員長	特別委員長	所管分野
1 運営	永塚誠一 自工会副会長・専務理事	—	会議所活動 実績・計画
2 税制	自販連法規・税制委員長	—	自動車税制
3 道路・交通 (新)	梶野龍二 トラ協理事長	公共交通・MaaS 交通安全 保 險 梶原景博 木場宣行 浜島和利 バス協理事長 日整連専務理事 日本通運執行役員	道路・交通、 保険、交通安全 等
4 経済・産業 (新)	平井敏文 自販連副会長・専務理事	新技術・情報 企 画 和辻健二 島崎有平 自工会常務理事 自販連常務理事	経済・産業、 環境、人材 等



1) 組織運営

2019年度計画

・従来事業の適正化

⇒費用・工数負荷の高いイベント、会員サービス事業を見直す

主な対象事業	拡大（3か年計画）以前	2019年度変更内容	工数削減	収支改善
イベント 交通安全アクション	1回/年	2回/年→1回	◎	◎ 530万円
会員研修会	10回/年	12回/年→10回	◎	△
会議所ニュース	12回/年	12回/年→10回	○	○ 100万円
「数字で見る自動車」 「運送事業経営指標」刊行	1回/年	1回/年→ 国交省HPに移管	○	○ 50万円
イベント 会館親子キッズエンジニア	なし	1回/年→ 会館運営委 総合部会で 議論・決定	◎	○ 80万円
イベント 交通安全ポスターコンテスト	1回/年	1回/年→ 会館運営委 総合部会で 議論・決定	◎	○ 30万円
エコライブポスター掲出	2回/年	2回/年→ 提供物・方法見直し	○	○ 30万円

2) 税制

2018年度実績

⇒ 「ユーザー」を中軸に据え、業界を挙げた「勝負の年」の要望活動を強力推進

<委員会> 税制委員長：井上尚之 自販連法規・税制委員長（当時）

- ・ 税制部会 委員団体税制要望ヒアリング（9/6）
- ・ 第1回委員会「税制改正要望書」審議（9/21）
- ・ 第2回委員会 額賀自民党自動車議連会長講演（2/6）

<自民党自動車議連>

- ・ 役員懇談会・陳情活動 7,800万ユーザー統一要望書を説明、会館で配布・陳情(8/31)
- ・ 会議所内山田会長 議連・党税調幹部等への陳情(11/7、11/16)
- ・ 総会・政策懇談会 議連213名出席・統一要望書を再度説明(11/16)
- ・ 政策懇談会 議連202名出席・あらためて自動車税引き下げを強く要望(12/3)

2) 税制

2018年度実績



<政府・政党への対応>

- ・ 国会議員・関係省庁へ会議所要望書提出(10/15)
- ・ 自民党 運輸・交通関係団体委員会/国交部会ヒアリング(11/9)
- ・ 公明党 自動車議員懇話会ヒアリング(11/6)
- ・ 国民民主党ヒアリング(10/12、11/19)、立憲民主党ヒアリング(11/20)

<税制改革フォーラム>

- ・ 全国47都道府県知事へ陳情活動・統一要望書の届け (9-11月)
- ・ 「ユーザーの声収集活動」再全国展開 (7-11月)
- ・ 東京モーターフェスでのアピール活動(10/6-8)
- ・ 日刊自動車新聞「フォーラム特集」・要望活動活用(10/5～)
- ・ ファミリーレストラン テーブルステッカー 110店舗展開(10/30-11/12)

⇒ 「7,800万ユーザーの声」統一要望書を自動車議連や全国47都道府県知事に説明

平成30年10月

JAF・自動車税制改革フォーラム

自動車関係諸税の負担軽減・簡素化に関する要望

全国7,800万ユーザーの声！

1. 自動車税は 国際的水準である
現行の軽自動車税を基準に引き下げ
2. 消費税引き上げ後の
自動車ユーザーの税負担増を回避

(前半部分抜粋)

2) 税制

2018年度実績

⇒ 自動車議連政策懇談会・与党税調幹部等への説明・要望活動を積極的に展開



2) 税制

2018年度実績

税制改革フォーラム 全国知事陳情活動

⇒15知事本人に統一要望書を手渡し



東京都小池知事



愛知県大村知事

都道府県	現知事氏名(敬称略)	要望書受渡日	知事要望受取者
北海道	高橋 はるみ	2018-10-23	総務部長
青森	三村 申吾	2018-11-06	総務部長
岩手	達増 拓也	2018-11-16	副知事
宮城	村井 嘉浩	2018-11-14	総務部長
秋田	佐竹 敬久	2018-10-30	知事
山形	吉村 美栄子	2018-11-22	総務部次長
福島	内堀 雅雄	2018-11-08	総務部長
茨城	大井川 和彦	2018-10-19	知事
栃木	福田 富一	2018-11-12	知事
群馬	大澤 正明	2018-11-06	知事
埼玉	上田 清司	2018-11-07	税務局長
千葉	森田 健作	2018-11-19	総務部長
神奈川	黒岩 祐治	2018-11-22	知事
山梨	後藤 斎	2018-10-18	副知事
東京	小池 百合子	2018-11-14	知事
新潟	花角 英世	2018-11-05	副知事
富山	石井 隆一	2018-10-31	副知事
石川	谷本 正憲	2018-10-19	参与
福井	西川 一誠	2018-11-05	総務部長
長野	阿部 守一	2018-11-16	副知事
岐阜	古田 肇	2018-11-07	副知事
静岡	川勝 平太	2018-11-12	副知事
愛知	大村 秀章	2018-10-15	知事
三重	鈴木 英敬	2018-11-22	知事

滋賀	三日月 大造	2018-10-18	知事
京都	西脇 隆俊	2018-11-02	知事※
大阪	松井 一郎	2018-10-09	税務局長
兵庫	井戸 敏三	2018-11-27	副知事
奈良	荒井 正吾	2018-10-30	副知事
和歌山	仁坂 吉伸	2018-10-25	総務部長
鳥取	平井 伸治	2018-10-29	総務部長
島根	溝口 善兵衛	2018-11-05	知事
岡山	伊原木 隆太	2018-11-13	副知事
広島	湯崎 英彦	2018-11-16	知事
山口	村岡 嗣政	2018-11-07	総務部長
徳島	飯泉 嘉門	2018-11-07	副知事
香川	浜田 恵造	2018-10-30	知事
愛媛	中村 時広	2018-11-15	総務部長
高知	尾崎 正直	2018-11-14	知事
福岡	小川 洋	2018-11-14	総務部長
佐賀	山口 祥義	2018-10-29	総務部長、産業労働部長
長崎	中村 法道	2018-11-13	産業労働部次長
熊本	蒲島 郁夫	2018-11-20	総務部長
大分	広瀬 勝貞	2018-10-29	知事
宮崎	河野 俊嗣	2018-11-16	総務部長
鹿児島	三反園 訓	2018-11-09	総務部長
沖縄	玉城 デニー	2018-11-02	総務部長

2) 税制

2018年度実績

⇒ フォーラム：日刊自動車新聞に4面特集記事掲載(10/5)・抜き刷り1,500部を活動に活用

自動車税制 私の意見 インタビュー

自動車税制の見直しが進まないのは、国と地方、車体と燃料など利害が複雑し、短期間での議論が極めて難しいことも理由の一つだ。こうした自動車税制の課題に精通する自民党の議員経験者前原博嗣議員（自民党自動車議員連盟会長）と、全国約12万人の会員を抱える日本自動車連盟（JAF）の矢代隆義会長に、現在の自動車税制の課題点や見直しの方向性などを聞いた。

「不合理な負担の中心は個人保有者」

前原議員は、保有者負担の割合が、法人保有者（約10%）と個人保有者（約90%）と大きく異なることを指摘し、個人保有者の負担を軽減する必要があると訴えている。

「保有者負担の割合は重く、保有者負担の割合は重く、保有者負担の割合は重く」

前原議員は、保有者負担の割合が、法人保有者（約10%）と個人保有者（約90%）と大きく異なることを指摘し、個人保有者の負担を軽減する必要があると訴えている。

矢代 隆義氏

日本自動車連盟（JAF）会長

「説明がつかない」「当分の間税率」

矢代氏は、現在の税率が説明がつかないことを指摘し、透明性を高める必要があると訴えている。

関係団体、ユーザーの不満は頂点へ 自動車税制見直し

関係団体、ユーザーの不満は頂点へ 自動車税制見直し

「こんなに重いクルマの」

「こんなに重いクルマの」という声は、自動車税制の見直しを求めるユーザーの代表的な声だ。

新車価格が上がる負担

新車価格が上がる負担は、ユーザーにとって大きな課題となっている。

「本質的な問題は、旧税率の放り」

本質的な問題は、旧税率の放りであるという指摘がある。

「戦後の道路整備の支え」

戦後の道路整備の支えとして、自動車税制が果たした役割は大きい。

「サフライチェーン 崩壊の危機」

サフライチェーンの崩壊の危機が叫ばれている。

自動車税制見直し 勝負の年!!

国際的にも極めて過重なユーザー負担

国際的にも極めて過重なユーザー負担を指摘する声がある。

「当分の間税率」など 不合理な税制が継続

「当分の間税率」など 不合理な税制が継続しているという批判がある。

「戦後の道路整備の支え」

戦後の道路整備の支えとして、自動車税制が果たした役割は大きい。

「サフライチェーン 崩壊の危機」

サフライチェーンの崩壊の危機が叫ばれている。

「本質的な問題は、旧税率の放り」

本質的な問題は、旧税率の放りであるという指摘がある。

「こんなに重いクルマの」

「こんなに重いクルマの」という声は、自動車税制の見直しを求めるユーザーの代表的な声だ。

新車価格が上がる負担

新車価格が上がる負担は、ユーザーにとって大きな課題となっている。

「保有者負担の割合は重く、保有者負担の割合は重く、保有者負担の割合は重く」

保有者負担の割合が、法人保有者（約10%）と個人保有者（約90%）と大きく異なることを指摘し、個人保有者の負担を軽減する必要があると訴えている。

「説明がつかない」「当分の間税率」

矢代氏は、現在の税率が説明がつかないことを指摘し、透明性を高める必要があると訴えている。

2) 税制

2018年度実績

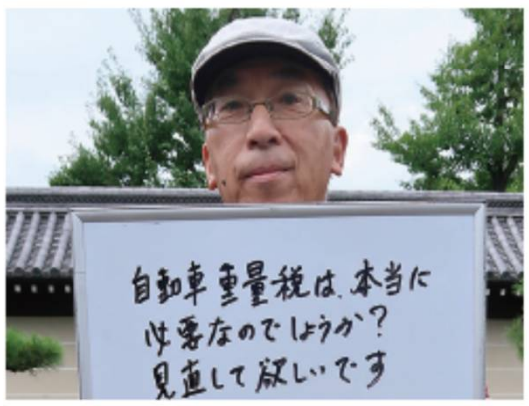
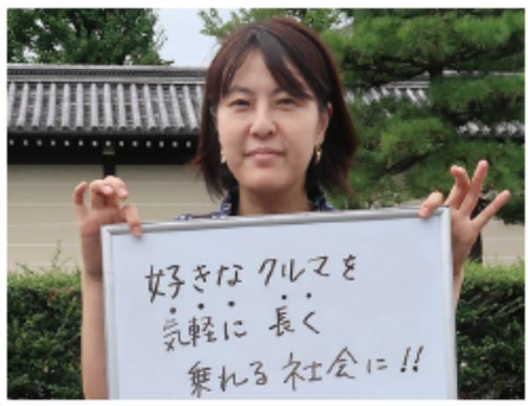
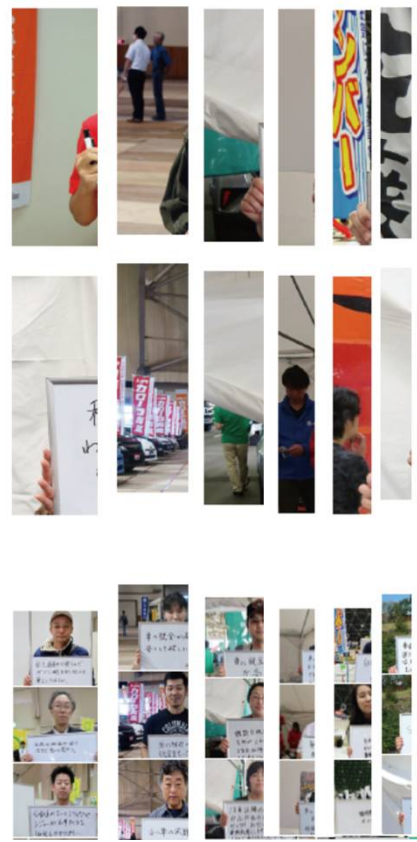


⇒ フォーラム：全都道府県5,897ユーザーの声と写真を集め、国会議員や知事に届けた

京都府 自動車ユーザー「生の声」



北海 青森 岩手 宮城 秋田



2) 税制

2018年度実績

⇒フォーラム：東京モーターフェス、ファミリーレストランでも訴求活動を展開



東京モーターフェス来場者のクルマの税金に対する意見をシールで車やパネルに貼付



5県・110店舗でテーブルステッカーを展開

2) 税制

2018年度実績

2019年度与党税制改正大綱結果(12/14)

- ・自動車税 新規登録車を対象に恒久引き下げ
- ・環境性能割 需要平準化対策として1年間の税率1%の軽減措置
- ・エコカー減税等 地方財源補填のため見直しや重点化
- ・今後、自動車関係諸税は「その課税のあり方について、中長期的な視点に立って検討を行う」とされる

<自動車税 恒久減税>

党税調資料

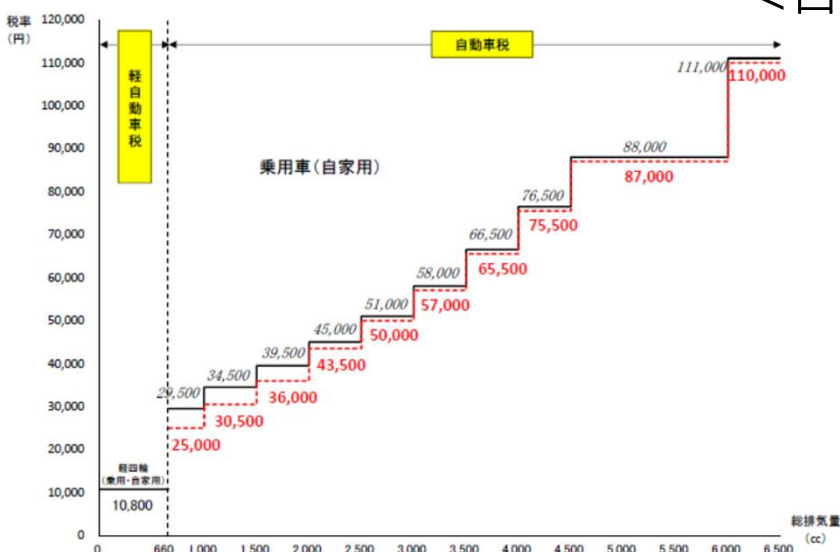
[2019年10月1日以後に新規取得した自家用乗用車(新車)から適用。]

税率区分	~1,000cc以下	1,000cc超 1,500cc以下	1,500cc超 2,000cc以下	2,000cc超 2,500cc以下	2,500cc超~
引下げ幅	▲4,500円	▲4,000円	▲3,500円	▲1,500円	▲1,000円

※ 軽自動車税の税率は据置き

<検討事項>

- 6 自動車関係諸税については、技術革新や保有から利用への変化等の自動車を取り巻く環境変化の動向、環境負荷の低減に対する要請の高まり等を踏まえつつ、国・地方を通じた財源を安定的に確保していくことを前提に、その課税のあり方について、中長期的な視点に立って検討を行う。



2) 税制

2019年度計画



[背景・課題]

- ・自動車税恒久引き下げ・需要平準化策は、活動の大きな成果と評価。詳細評価や販売への影響は、状況をよく見極めていく必要
- ・引き続き負担軽減・簡素化を求めている。今後の活動方針・アプローチは、官民とも具体的な方向性はまだ出てきていない

[計画のポイント]

- ・消費税引き上げ、2019年度税制改正の影響・国内市場動向フォロー
- ・負担軽減・簡素化を継続して求めながら、「中長期的な視点」の論点整理、今後の議論に備えた税制度・データに関する調査・研究

3) 交通安全

2018年度実績



<委員会> 交通安全委員長：木場宣行 日整連専務理事

・第1回委員会 当年度事業実績と来年度事業について(1/24)

・第2回委員会 「平成30年 1-12月事故発生状況と主な特徴について」(3/18)
(警察庁講演)

<会員研修会>

・第252回会員研修会 「高齢化社会における効果的な事故予防対策の実践」(10/17)
(滋賀医科大学 一杉正仁教授)



3) 交通安全

2018年度実績

<普及啓発イベント「交通安全。アクション」>

・「2018新宿」(新宿署共催)新宿駅西口広場イベントコーナー(4/7・8)

- ・総来場者：7,700名* (前年比▲5,800) 来場者特性：60代以上 50%
- ・参加・協力団体：46団体 (+3) 協力スタッフのべ181名 (+8)
- ・ブース出展団体：15団体 (±0)

*…カウント方式変更の影響あり

■会場の様子

<会場風景：新宿西口方面より>



<新規ブース> 高齢者交通安全啓発コーナー (北里大学医療衛生学部・共同)
 <運転視機能チェック簡易体験コーナー> <認知機能検査 簡易体験>



■ブースプログラム



	プログラム名称 (出展団体名)		プログラム名称 (出展団体名)		プログラム名称 (出展団体名)
1	交通安全約束 手形(共同) 	5	電動車いすの 安全利用 (電動車いす 安全普及協会) 	9	オートバイ用胸 部プロテクター (全国二輪車 用品連合会) 
2	高齢者交通 安全啓発 コーナー (北里大学医療 衛生学部・ 共同) 	6	おでかけばんだ ・頭部保護帽 (日本自動車 研究所) 	10	俊敏性測定 「あなたの俊敏 性は何歳？」 (イーティエフ) 
3	首都高安全 広報隊 (首都高速道路) 	7	ライディング シミュレーター & ゲンチャレ (日本二輪車 普及安全協会) 	11	自動車運転 適性診断 (自動車事故 対策機構) 
4	白バイ搭乗 体験 (警視庁・新宿 警察署) 	8	てんけんくん ぬりえ体験 コーナー (日本自動車 整備振興会 連合会) 	12	飲酒疑似体験 ウォーキング (共同) 

■ブースプログラム(続)・ステージプログラム他



	プログラム名称 (出展団体名)
13	反射材効果体験 (日本自動車連盟) 
14	エコドライブで交通安全 (東京都トラック協会) 
15	歩行者シミュレータ (東京都青少年・治安対策本部) 
	総合受付 (共同) 

●ステージ・参加型プログラム

ピエロのグリーティング



新宿署:交通安全イベント



交通安全〇×クイズ



寄席:古今亭文菊師匠

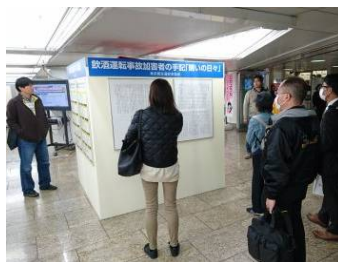


交通安全ビンゴ



●その他

飲酒運転根絶パネルコーナー





3) 交通安全

2018年度実績

<普及啓発イベント「交通安全。アクション」>

・ 2018お台場 パレットタウン内「メガウェーブ」(11/17・18)

- ・ 総来場者：14,400名* (前年比▲5,600) **来場者特性：30-60代ファミリー層 80%**
 - ・ 参加・協力団体：49団体 (+1) 協力スタッフのべ183名 (▲6)
 - ・ ブース出展団体：16団体 (+1)
- *...メガウェーブ来場者減の影響あり

■会場の様子

<会場全景>



<新規ブース>

お子様の命を守るチャイルドシート
(日本自動車部品工業会)



<新規ブース>

物忘れチェック体験
(全日本指定自動車教習所協会連合会/高齢者安全運転支援研究会)



■ブースプログラム



	プログラム名称 (出展団体名)		プログラム名称 (出展団体名)		プログラム名称 (出展団体名)
1	ライディング シミュレーター & ゲンチャレ (日本二輪車 普及安全協会) 	5	おでかけばんだ ・頭部保護帽 (日本自動車 研究所) 	9	首都高安全 広報隊 (首都高速道路) 
2	俊敏性測定 「あなたの俊敏 性は何歳？」 (イーティエフ) 	6	てんけんくん ぬりえ体験 コーナー (日本自動車 整備振興会 連合会) 	10	反射材体験 (全日本交通 安全協会) 
3	子ども安全 免許証 (日本自動車 連盟) 	7	自動車運転 適性診断 (自動車事故 対策機構) 	11	物忘れチェック 体験 (全日本指定自動車 教習所協会連合会 /高齢者安全運転 支援研究会) 
4	交通安全約束 手形(共同) 	8	お子様の命を 守るチャイルド シート (日本自動車 部品工業会) 	12	白バイ搭乗 体験 (警視庁・東京 湾岸警察署) 

■ブースプログラム(続)・ステージプログラム他



	プログラム名称 (出展団体名)
13	オートバイ用胸部プロテクター (全国二輪車用品連合会) 
14	歩行者シミュレータ/ハイパースムーズ東京 (東京都青少年・治安対策本部) 
15 17日	盲導犬ふれあい広場 (全国盲導犬施設連合会・日本盲導犬協会) 
15 18日	飲酒疑似体験ウォーキング (共同) 

ピエロのグリーティング



交通安全〇×クイズ



交通安全ビンゴ



盲導犬ふれあい教室



キャンパスクイーン
「交通安全の歌」



ピーポくん



●その他

飲酒運転根絶パネルコーナー



てんけんくん



3) 交通安全

2018年度実績



< 支援・協賛活動 >

・交通安全チラシ・ポスターによる啓発活動支援

- ・会館交通安全ポスターコンテスト：応募作品108（前年比+6）表彰式(10/17)
- ・交通安全啓発チラシ・ポスター統一完成品の提供：
9団体（+1）、チラシ59,300枚（+21,800）、ポスター330枚（▲110）

・地域の交通安全啓発活動・協賛活動支援

- ・俊敏性測定機器（クイックアーム）の貸出・イベント活用促進：
体験者3,700人（前年比▲125）/のべ12回（▲1）、7会議所活用
- ・エフエム大阪「飲酒撲滅キャンペーン」：14万円/年協賛（▲4）

3) 交通安全

2019年度計画



[背景・課題]

- ・ 高齢・健康起因事故は日々研究が進んでおり、**知見深化のニーズが高い**
- ・ 「アクション」協力団体は拡大。一方、年1回→2回化による**効果増は見通し難く、費用・工数負担が非常に大きい**
- ・ 具体的な**事故削減に貢献する提言・活動が弱い**

[計画のポイント]

- ・ 高齢・健康起因による事故の知見深化につながる研修や機会の増大を図る
- ・ アクションは年1回に戻す。一方、業界の取り組みPR拡大・具体的な事故削減に貢献しうる新規施策の検討を進める

4) 保険

2018年度実績

⇒15年ぶりに実現した繰り戻しをテコに、被害者救済事業の拡充に向けた活動を展開

<委員会> 保険委員長：秋田進 日本通運取締役常務執行役員（当時）

・ 第1回委員会 「国交省あり方懇への意見」 審議・決定(5/29)
→陳述 (6/7)

・ 第2回委員会 「金融庁自賠審への意見」 審議・決定(1/15)
→陳述 (1/16)

<シンポジウム・陳情活動>

・ 「自賠制度を考える会シンポジウム」 開催(9/10)
自動車関係団体・交通事故被害者団体 →陳情活動 (第1回 同日)
など約140名出席 (第2回 11/29)

2019年度政府予算案(12/21)

・ **2年連続の繰り戻し**が実現し、さらに増額 (37.2億円 前年度比**1.6倍**)

4) 保険

2018年度実績



⇒ 自賠制度を考える会シンポジウム 自動車業界・交通事故被害者団体など約140名出席



- 【日 時】 平成30年9月10日(月) 13時00分～14時30分
- 【場 所】 日本自動車会館 1階くるまプラザ会議室
- 【次 第】
1. 基調講演：小林覚 弁護士・日弁連交通事故相談センター副理事長
 2. 被害者救済の現状説明：小林豊 国土交通省自動車局保障制度参事官
 3. パネルディスカッション：

福田弥夫	日本大学危機管理学部長 (司会)
小林覚	同 上
小林豊	同 上
桑山雄次	全国遷延性意識障害者・家族の会代表
徳政宏一	日本頸髄損傷Life Net理事長
秋田進	日本自動車会議所保険委員長
 4. 要望書発表・記者会見：

福田弥夫	同 上 (座長)
桑山雄次	同 上
矢代隆義	日本自動車連盟会長
高倉明	全日本自動車産業労働組合総連合会会長
秋田進	日本自動車会議所保険委員長

考える会一同



⇒シンポジウム発表「自動車安全特別会計からの一般会計繰入金に係る要望」(考える会)

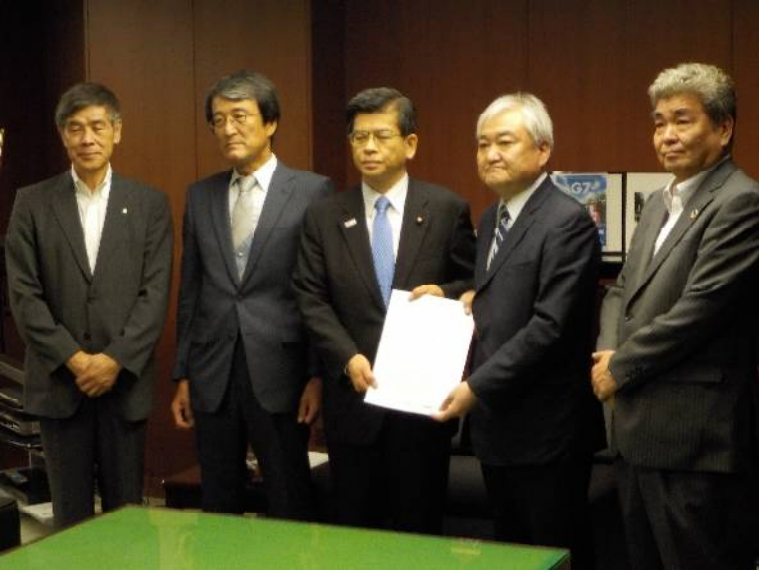
1. 自動車安全特別会計（自賠責保険料積立金・剰余金）から一般会計に繰り入れられている 6.159 億円を可能な限り早期に返済いただきたい。
平成 31 年度予算における繰戻額については、長年積立金が大きく取り崩されてきた状況に鑑み、被害者等のニーズに応じた被害者救済事業等が安定的、継続的に将来にわたって実施されるよう、少なくとも、積立金を取り崩すことなく被害者救済事業等が十分に実施できるよう 増額をしていただきたい。
2. 今後、交通事故の被害者が将来にわたって安心して生活することができ、被害からの回復が可能となるよう、また、交通事故による被害者の発生を少しでも減らすことができるよう、引き続き、被害者救済や事故防止対策の更なる充実を図るとともに、これらの問題に関し、十分な説明責任を果たしていただきたい。

4) 保険

2018年度実績



⇒シンポジウムを受けて、麻生・石井大臣、額賀議連会長、国民民主党等に陳情を実施



4) 保険

2019年度計画



[背景・課題]

- ・ 「2年連続繰り戻し」 「増額」 実現は、要望に沿う結果として評価
- ・ 大臣間覚書で「被害者保護増進事業等の安定・継続に十分留意し、毎年の繰り戻し額を決定」となったが、6,000億円あまりの繰入金はまだ残存

[計画のポイント]

- ・ 国交省あり方懇、金融庁自賠審において、継続して6,000億円の繰入金の返済を求めていく
- ・ 引き続き「考える会」と連携し、情勢を見極めて必要な陳情・理解活動を行う

5) クルマ好き拡大

2018年度実績

⇒会議所ホームページ (HP) によるクルマ・イベント等の情報提供、集客支援策等について、特別委員会の下で活動展開

<委員会> 特別委員長：和辻健二 自工会常務理事

・ 第1回委員会 会議所HP進捗説明・イベント情報提供要請(6/29)

- ・ イベント情報掲載件数累計1,324件、月間サイト訪問数1万件件超え(5月時点)
- ・ 各団体へのイベント事前情報提供の再依頼

・ 第2回委員会 東京モーターフェス2018支援策・会員専用サイト説明(9/11)

- ・ 東京モーターフェス概要説明・各団体HPへのバナー掲載依頼 (集客強化)
- ・ 会員専用サイト「クルマbiz」の説明 (会議出欠確認、アンケート集約)

・ 第3回特別委員会 会議所HP進捗説明・東京モーターショー2019支援策(3/4)

- ・ HPのページビュー(PV)が月間2万件超えで推移。3万件目標を提案
- ・ 東京モーターショーバナー掲載を各団体支部や会員以外にも呼びかけを提案

5) クルマ好き拡大

2018年度実績

< 会議所ホームページによる情報提供 >

2017年8月HP立ち上げ トップページデザイン <https://www.aba-j.or.jp/>

社団法人 日本自動車会議所
Automobile Business Association of Japan

クルマbiz Google カスタム検索

：アクセス：お問い合わせ：サイトマップ：

ホーム・新着情報 自動車会議所とは 会議所の活動 会員紹介 クルマの情報館 刊行物 リンク集

クルマ社会の健全な発展をめざして

新着情報 日付は新着情報の掲載日です

日付	白書・意見書・刊行物	展示会・講演会	会議・審議会・委員会
2019年2月6日	経産省 第5回「日本ベンチャー大賞」の募集を開始します！（開催日：2019年2月4日）		
2019年2月6日		国土省 東京都心部で、自動運転バスの実証実験を行います！～都心部公道での実走により、導入上の課題や社会受容性を検証～（開催日：2019年2月8日）	
2019年2月6日	トヨタ JPN TAXIの車いす乗降改善対応について（開催日：2019年2月4日）		
2019年2月6日			サポカー普及・啓発で協定、三重県と県警自動車機関・団体（開催日：2019年1月28日）

NEW 日本自動車会議所
クルマに関するイベントなど
あらゆる情報がご覧いただけます

クルマの
情報館 検索

会員
研修会

自動車税制改革フォーラム

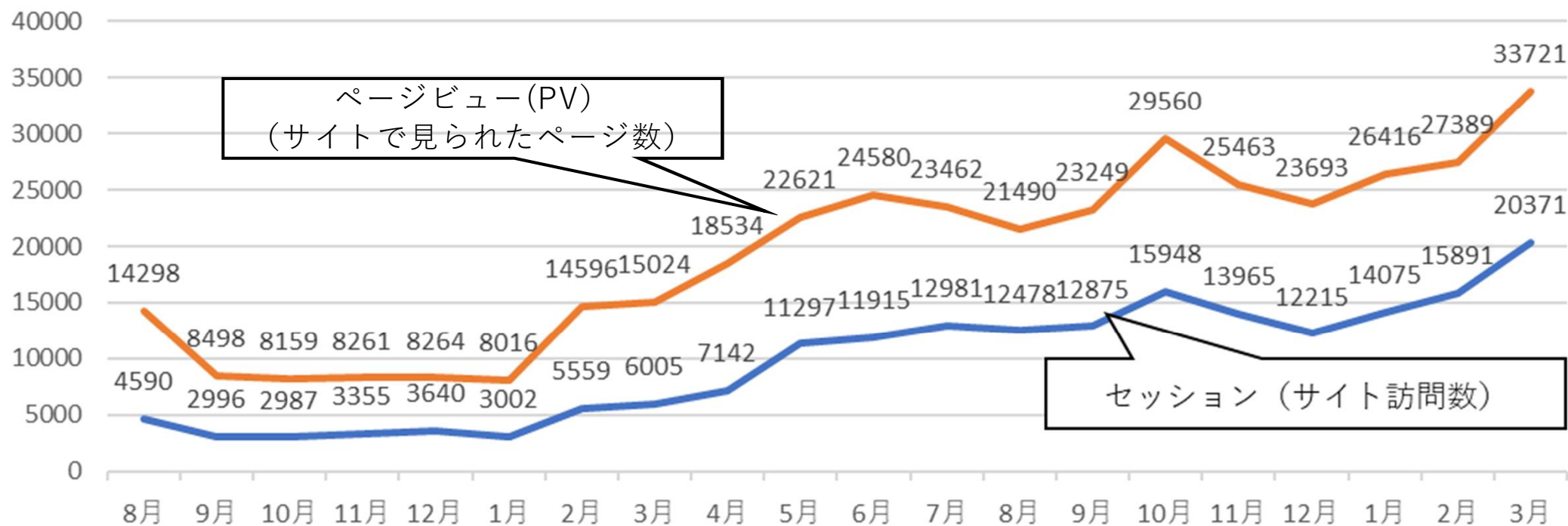
5) クルマ好き拡大

2018年度実績



⇒HPアクセス数増加。ページビュー(PV)はコンスタントに月間20,000件超え

アクセス数推移 (新HP立ち上げ～2019年3月)





⇒ 掲載記事PVベスト10 (2018年) : 第1位 「原付二種免許の規制緩和」
⇒ 「原付二種」 「最短」 の検索経由でアクセス集中。記事のワード選択が重要

個別	「クルマの情報館」 2018/1~12 個別ページタイトル PV100件以上 262タイトル	ページビュー(PV)
順位		250,974
1	原付二種免許、最短2日で警察庁が規制緩和、二輪業界は歓迎	6,065
2	警察庁、昨年の交通事故 自動ブレーキ普及で追突が目立って減少	4,092
3	日本自動車会議所 親子キッズエンジニアを開催	3,487
4	自動ブレーキ普及加速、昨年の装着率9割前後	3,372
5	全ト協 第50回全国トラックドライバー・コンテストを開催	2,391
6	自動車用動力伝達技術研究組合 (TRAMI) 発足	1,883
7	整備専門工場、エーミング作業になお課題 日刊自動車新聞調査	1,636
8	高齢者免許更新早めに 検査・講習予約取れず失効も	1,450
9	全日本トラック協会会長が坂本克己氏に交代	1,416
10	「交通安全。アクション2018新宿」4月開催	1,217

5) クルマ好き拡大

2019年度計画



[背景・課題]

- ・ P R効果の高い「事前のイベント告知」の情報が各団体からなかなか集まらず、まだ周知が足りていない
- ・ 東京モーターショー2019に向け、これまでの集客支援策の総括・分析

[計画のポイント]

- ・ 「事前のイベント告知」など情報発信を強化、月間30,000超PV維持を実現
- ・ 東京モーターショー2019の集客支援策の充実
- ・ クルマ好き拡大に向けた新規施策の検討



6) 会員サービス・日本自動車会館関係

1. 会員研修会

2018年度実績

- ・ 自動運転シリーズ4回を含め計11回開催 出席者合計約904名 82名/回
(前年比▲9)



「自動車産業の近未来」(6/29) 藤本隆宏氏



「クルマ社会の自動化と電動化」(7/24)長島聡氏



「CASE革命」(3/20)中西孝樹氏

2019年度計画

- ・ 引き続き会員の関心の高い自動運転・CASEなど時事・重要情報を取り上げ

1. 会員研修会



⇒2018年度開催実績：11回中 半数超6回が自動運転・CASE関連テーマ

開催日	テーマ	講師 (敬称略)		参加者数
4月11日	技術革新が地域公共交通改革の突破口を開くために	名古屋大学大学院環境学研究科附属 持続的共発展教育研究センター	教授 加藤 博和	68
5月24日	日本・海外経済の実相 ～シェアリングエコノミーとこれからのモビリティ～	日本経済研究所	チーフエコノミスト 専務理事 鍋山 徹	90
6月29日	自動車産業の近未来	東京大学大学院経済学研究科 ものづくり経営研究センター	教授・センター長 藤本 隆宏	101
7月24日	クルマ社会の自動化と電動化 ～そして日本勢に主導して欲しい新たな移動社会～	(株)ローランドベルガー	代表取締役社長 長島 聡	102
9月5日	自動車新時代戦略会議中間とりまとめ	経産省製造産業局 自動車課	参事官 小林 大和	124
10月17日	高齢化社会における効果的な事故予防対策の実践	滋賀医科大学医学部社会医学 法医学部門	教授 一杉 正仁	52
11月20日	アナリストが占う自動車産業の未来	SMBC日興証券株式調査部	シニアアナリスト 渡邊 洋治	80
12月17日	自動車産業における稼ぐ力のレベルアップと ESGの考え方	三菱UFJスタンレー証券(株) エクイティリサーチ部	リサーチアドバイザー 松島 憲之	70
1月18日	いま問い直す「働くこと」の意味	東京大学社会科学研究所	教授 宇野 重規	61
2月19日	新たなモビリティサービス実現に向けた課題と展望	ITS Japan	専務理事 天野 肇	68
3月20日	CASE革命 2030年の自動車産業	(株)ナカニシ自動車産業リサーチ	代表・アナリスト 中西 孝樹	88

2. 国内施設視察会

2018年度実績

- ・ モータースポーツ試乗会とトークライブを開催(12/18)
- ・ 概要：①東京お台場メガウェブの試乗コースを貸し切り、プロドライバーによる運転でスポーツ仕様車の性能を体験
②トヨタ自動車担当者とモータージャーナリストによる同社モータースポーツの取り組み等に関するトークライブ
- ・ 参加者：34名（前年比▲18）



ノーマル・スポーツ仕様車に分乗



プロドライバーによる運転を体感



メガウェブ内試乗コースの様子



ジャーナリスト今井優杏氏らのトークライブ

2019年度計画

- ・ 参加者から高評価のため、試乗会として実施を継続（秋目途）





3. 広報

2018年度実績

- ・ 会議所ニュース年12回発行（月3,200部）
- ・ 会議所事業に関する報道説明会(6/7、10/16)、ニュースリリース（12回）



2019年度計画

- ・ 工数・費用削減のため、会議所ニュース年10回発行に変更・送付部数見直し（ニュースが少ない2・8月を翌月合併）
- ・ 産業記者会など大手紙・一般紙との接点拡充



4. 出版事業

2018年度実績

- ①「数字で見る自動車」(11,000冊)、②「運送事業経営指標」(450冊)
③「自動車年鑑」(25冊) 発行

- ①「数字で見る自動車」、②「運送事業経営指標」(ともに国交省監修)は、国交省ホームページに移管し、発行を取り止めることで同省と合意済



①



②



③

2019年度計画

- 「自動車年鑑」発行



5. 自動車会館運営

2018年度実績

・ 総務関係：①防災対応定着取り組み、②交流会・女性連絡会の継続開催

・ 広報関係：①交通安全ポスター募集・展示、②オリ・パラ、東京モーターショー（TMS）、万博コーナー更新、③親子キッズエンジニア開催

2019年度計画

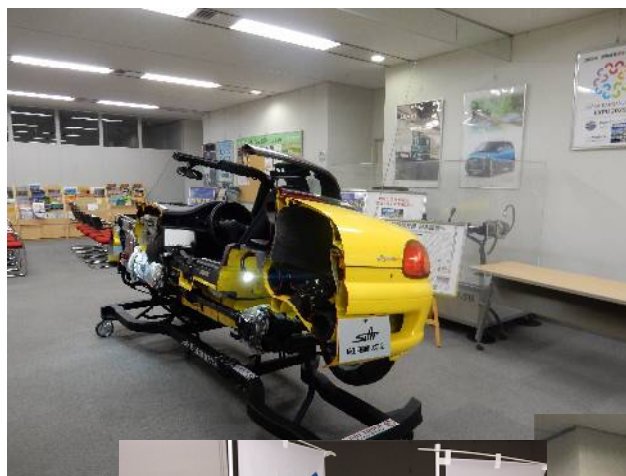
・ 総務・広報部会統合→「総合部会」発足

・ ①防災対応定着化の継続、②交流会・女性連絡会の継続、③オリ・パラ、TMS、万博コーナー適宜更新

・ 交通安全ポスター募集、親子キッズエンジニアは、総合部会で見直し内容を議論

5. 自動車会館運営

⇒日本自動車会館交流会 (9/26・150名参加) やくるまプラザの様子



日本自動車会館交流会(9/26) 於：くるまプラザ会議室

くるまプラザ会議室前 オープンスペース

6. 全国自動車会議所連携



2018年度実績

- ・ 全国専務理事会(10/25、2/7)、永年勤続者表彰式(3/1)



全国専務理事会(2/7) 於：神奈川県



永年勤続者表彰式(3/1) 於：くるまプラザ会議室



2019年度計画

- ・ 全国専務理事会(年2回)、永年勤続者表彰式(3月)

II. 事業実績・計画のポイント



2. 委員会活動（計画）

(1) 運営委員会 委員長：永塚誠一 自工会副会長・専務理事

[所管事項]

自動車会議所の活動実績・計画の審議・承認

[重点方針]

定時総会、理事会の上程議案の審議を通じて、会議所の機能・独自性を活かした取り組みを推進

- ・ 定時総会（5月）上程議案の審議
- ・ 理事会（3月）上程議案の審議



(2) 税制委員会

委員長： 自販連法規・税制委員長

[所管事項]

自動車に係る税制全般について、関係業界、自動車ユーザーにとって納得性のある税体系に向けて見直しを関係各方面に要望・提言

[重点方針]

会議所の税制関連事業と連携して、政・官との情報共有、税制改正要望書のとりまとめ、必要な要望・陳情活動を行う。

- ・ 税制改正要望書のとりまとめ
- ・ 税制改革フォーラムとの連携
- ・ 自民党自動車議連幹部 講演・意見交換



(3) 道路・交通委員会

委員長：梶野龍二 全ト協理事長

公共交通/**MaaS**特別委員長：梶原景博 バス協理事長

交通安全特別委員長：木場宣行 日整連専務理事

保険特別委員長：浜島和利 日本通運執行役員

[所管事項]

道路・交通、保険、交通安全などの分野について、必要な調査・研究、関係業界間の情報共有、関係各方面への要望・提言

[重点方針]

年2～3回程度開催

- ・ 所管分野にかかる関係業界の政策要望の整理 → 活用方法を検討
- ・ 関係官庁の予算・施策等の情報共有
- ・ 会議所事業と連携した情報共有と提言検討

-**MaaS**、シェアリング

-公共交通政策

-所管分野に係る働き方改革・生産性革命

-自賠責保険の繰り戻し

-高齢者・健康起因等に関する交通事故状況

等



(4) 経済・産業委員会

委員長：平井敏文 自販連副会長・専務理事

新技術・情報特別委員長：和辻健二 自工会常務理事
企画特別委員長：島崎有平：自販連常務理事

[所管事項]

経済・産業、環境、人材などの分野について、必要な調査・研究、関係業界間の情報共有、関係各方面への要望・提言

[重点方針]

年2～3回程度開催

- ・ 所管分野にかかる関係業界の政策要望の整理 →活用方法を検討
- ・ 関係官庁の予算・施策等の情報共有
- ・ 会議所事業と連動した情報共有と提言検討
 - CASE**関連
 - 政府・国内全体に係る働き方改革・生産性革命
 - 地球温暖化・気候変動に係る**COP**・国内対策
 - 自動車業界（団体）における人材活用 等



Ⅲ. 報告・連絡事項

1. 新規会員（3社）

(1) トヨタモビリティサービス株式会社
(代表者：代表取締役社長 村上秀一)



加入日 2019年4月5日

(2) 一般社団法人日本自動車購入協会
(代表者：代表理事 井上貴之)



加入日 同 4月15日

(3) 日本水素ステーションネットワーク合同会社
(代表者：社長 菅原英喜)



加入日 同 5月14日

<日本自動車会議所会員数（2019年5月28日現在）>

会員総数		173
うち	団体会員	89
	企業会員	78
	推薦会員	6

2. 当会議所業務効率化（ペーパーレス化・電子化）に向けて

⇒ 1. 会員専用サイト「クルマbiz」を今年度より本格運用

- ✓ 各委員会・会議・会員研修会（講演会）の開催案内送付や出欠回答
- ✓ 各種アンケートの実施

⇒ 2. そのため順次、メールアドレスのご登録依頼や、ログインID・パスワードの発行を、必要な方に展開

会議所HPよりクリック

社団法人日本自動車会議所
Automobile Business Association of Japan

クルマbiz

ホーム・新着情報 自動車会議所とは 会議所の活動 会員紹介 クルマの情報館 刊行物 リンク集

クルマ社会の健全な発展をめざして

新着情報 日付は新着情報の掲載日です

日付	種別	内容	掲載日
2019年2月6日	白書・専見書・刊行物	経産省 第5回「日本ベンチャー大賞」の募集を開始します！（開催日：2019年2月4日）	2019年2月4日
2019年2月6日	展示会・講演会	国土省 東京都心部で、自動運転/久の実証実験を行います！～都心部公道での実走により、導入上の課題や社会受容性を検証～（開催日：2019年2月8日）	2019年2月8日
2019年2月6日	白書・専見書・刊行物	トヨタ JPN TAXIの重いつ乗換改善対応について（開催日：2019年2月4日）	2019年2月4日
2019年2月6日	会議・審議会・委員会	サボカー普及・啓発で協定、三重県と県警自動車機関・団体（開催日：2019年1月28日）	2019年1月28日



・ログインID
・PW
で開く

社団法人日本自動車会議所
Automobile Business Association of Japan

クルマbiz

Login: 会員番号:

トップページ 会員情報 お知らせ アンケート等 お問い合わせ ログアウト

会員研修会のお知らせ

Information
お知らせ

緊急 委員会・部会 会員研修会 日本自動車協会 全国自動車会議所 交通安全、アクション 自動車税制改革フォーラム 国内視察見学会 アンケート お知らせ

2019/04/02 -New (協賛権限) **お知らせ** 「クルマの情報館」3月のアクセス数が初めて3万件を越えました

2019/03/20 -開演 (協賛権限) **会員研修会** 第258回会員研修会のご案内

もっと見る